



WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ

2025～2026 年度 高山中央 RC 会長テーマ

親睦・学び・成長・奉仕 ～地区と地域の未来を考えて～

よいことのために
手を取りあおう



◆会長 都竹 太志 ◆幹事 井ノ下 雄志 ◆会報委員長 今井 哲也 ◆会報担当 西田 智

創立 1991 年 5 月 20 日

<出席報告>

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

	会員数	出席会員	出席数	Make-up	出席率
本日 1420 回	56 名	56 名	46 名	——	82.14%
前々回 1418 回	56 名	56 名	46 名	3 名	87.50%

●点 鐘

●ロータリーソング

●四つのテスト

●ビジター・ゲストの紹介

ケーシー・シュミット 様

●会長の時間

会長 都竹 太志

皆さま、おはようございます。慌ただしかった選挙も自民党圧勝に終わりましたが、直接、関わられた方々はお疲れ様でした。今後の経済の動向が楽しみです。



さて、2月のロータリー月間のテーマは「平和構築と紛争予防」です。少し、お話しをさせて頂きたいと思います。

さて、皆さんは世界で一番、安上がりな平和活動は何だと思えますか。

武器でしょうか。経済制裁でしょうか。あるいは、巨額の支援金でしょうか。

それは違います。最もコストがかからず、しかも効果があるのは「対話」です。

挨拶を交わすこと。

相手の話を聞くこと。

自分と違う意見を、すぐに否定しないこと。

どれもお金を使わずに、争いを未然に防ぐ力を持っています。私たちの日常を振り返ってみても、争いの多くは悪意からというより、言葉が足りなかったり、誤解や思い込みから始まっているように思います。

「あの人は、きっとこう思っているに違いない」

「あの一言は、自分を軽く見ているのではないか」

そんな小さな行き違いが、人間関係をこじらせてしまう。国家と国家の対立は規模こそ大きく違いますが、根底には似た構造があると思います。

現代社会では、SNS やニュースを通じて、世界中の出来事が瞬時に私たちの目に入ってきます。戦争の映像や悲惨な状況が、日常の延長のように流れてきます。

ドローンなど無人兵器の発達によって、人が直接相手と向き合わずに攻撃が行われる時代にもなりました。その結果、命の重みや相手の存在が、どこか数字や映像として処理されてしまっているようにも感じます。そんな危うさを感じます。

ウクライナで続く戦争、中東で終わりの見えない衝突。戦争は、もはや遠い国の出来事ではありません。

一方で、私たちは歴史から、対話が通じなかった現実も学んできました。

20 世紀には、ヒトラーやレーニン、チャウシェクといった独裁体制のもとで、対話や反対意見が排除され、結果として多くの悲劇が生まれました。現代においても、トランプ、習近平、プーチンといった名前をめぐり、「対話は本当に成立するのか」

「話し合いが通じる相手なのか」そうした議論が交わされる場面があります。

話し合えば必ず分かり合える、とは限らない。その現実があるからこそ、世界は今も不安定なのだと思います。

しかし、だからといって対話を諦めてしまえば、残るのは力と力のぶつかり合いだけです。武器に武器で応じれば、争いは連鎖する。それは歴史が何度も示してきた事実です。

日本に暮らす私たちの意識も、少しずつ変わってきています。戦争が身近になる一方で、どこかでそれに慣れてしまっている自分たちがいる。そのことに、立ち止まって考える必要があると思います。私たちは、戦争を実体験としては知りません。だからこそ、断定的なことを言うことには慎重でありたい。しかし同時に、知らない世代だからこそ、考

え続け、関心を手放さず、記憶を風化させない責任があると思います。

ロータリーが目指してきた平和は、武力によって無理やり保たれる平和ではありません。

人々が安心して水を飲み、食べ物を得て、教育を受け、働くことができる社会。その生活の基盤が整ってこそ、争いは起きにくくなります。

そのことを、静かに、しかし力強く示した日本人が、高山西ロータリークラブでも取り上げたアフガニスタンで活動した医師、**中村哲さん**です。

中村さんは、戦乱と貧困に苦しむ人々の医療支援を続けるなかで、干ばつによって多くの命が失われていく現実を前に、「命をつなぐには水が必要だ」と考えました。

医師でありながら独学で土木を学び、現地の人々とともに井戸を掘り、用水路を造り、農地の再生に取り組みました。それは、将来にわたって現地の人々が自ら維持し、自立していけるようにとの配慮でもありました。

水が流れれば畑が生まれ、畑ができれば仕事生まれ、子どもたちは学校へ通えるようになる。そこには武器も威嚇もありません。ただ、人が人として生きられる環境を整える営みがありました。

中村さんは、生前こう語っています。

「水は、善人も悪人も区別しない」

誰であっても分け隔てなく向き合い、ここで生きる人々とともに力を尽くす。その姿勢こそが信頼を生み、長年にわたる活動を可能にしたのだと思います。

これは言葉だけの対話ではなく、**生き方そのものによる対話**だったのではないのでしょうか。

私たち一人ひとりに、世界の紛争を直接止める力はありません。それでも、考え続けること、関心を手放さないこと、支援や奉仕を続けることはできます。

一人ではできないことも、集まれば、続けることができる。ロータリーは、そのための場なのだと思います。

平和構築と紛争予防月間にあたり、結論を急ぐのではなく、簡単に割り切らず、忘れず、考え続ける姿勢を、あらためて大切にしていきたいと思えます。

以上、会長の時間とさせていただきます。ありがとうございました。

● 幹事報告

幹事 井ノ下 雄志

◎ R I 本部より

- ・ ザ・ロータリアン誌

◎ 国際ロータリー第 2630 地区ガバナー事務所より

- ・ ガバナーノミニ決定宣言 松波和寿様 (まつなみかずとし)

岐阜南 R C

- ・ 2026 年クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー開催のご案内

日時：4 月 11 日 (土) 13:00~16:50

会場：不二羽島文化センター

登録料：10,000 円

- ・ 2026 年台北国際大会・R I 理事主催朝食会・ガバナー IN 台湾のご案内

- ・ 財団ニュース 2 月号

- ・ I A 韓国派遣研修報告書

- ・ 2027-28 年度夏季派遣学生募集のご案内

- ・ 次期会員増強ラーニングセミナー開催のお知らせ

日時：5 月 9 日 (土) 10:00~

会場：都ホテル岐阜長良川

出席要請者：次期会長・次期会員増強委員長・新会員

登録料：6,500 円

- ・ 韓国第 3600 地区交換派遣学生募集のご案内

◎ ロータリー米山記念奨学会より

- ・ 確定申告用領収書の件

- ・ ハイライトよねやま 311

○ 濃飛グループ次期ガバナー補佐より

- ・ 次期会長幹事懇談会のご案内

日時：3 月 25 日 (水) 11:40~

会場：水明館

登録料：10,000 円

○ ロータリーの友事務所より

- ・ 2026-27 年度版ロータリー手帳お買い上げのご案内

1 冊=880 円

○ 高山ロータリークラブより

- ・ 例会変更のお知らせ

2 月 12 日 (木) 休会 定款により

3 月 5 日 (木) 茶道体験例会 桜山八幡宮

3 月 19 日 (木) 休会

○ 高山西ロータリークラブより

- ・ 例会変更のお知らせ



2月13日(金) 休会 定款により

2月27日(金) 休会 定款により

<高山岳城ライオンズクラブより>

- ・結成 55 周年記念大会開催予定のお知らせ
(R8年11月1日)

<飛騨高山国際協会より>

- ・国際交流イベント「飛騨高山ワールドフットサルフェス 2026」開催のご案内
- ・シビウ国際演劇祭ボランティアスタッフ募集のご案内

<高山市民憲章推進協会より>

- ・令和8年度花苗申し込みのご案内

<会報>

- ・下呂RC ・高山RC

● 3分間スピーチ

清水 幸平



● 国際奉仕委員会

委員長 周 信夫

多文化共生を理解する

現在、日本はよくも悪くも外国人の方の影響を受けています。円安のため多くのインバウンドの受け入れによるオーバーツーリズムはその地域の住民と問題が生じる事がある一方高山市のように観光産業で成り立つ地域ではその経済効果は計り知れません。

また日本は少子化により、様々な業種において働き手となる若い世代が足りず、アジア圏からの就労外国人を招かなければ成り立たない業種が沢山あります。このような状況において多くの外国人を受け入れる事への賛否も議論されています。

人間は国籍や文化が違えば考え方も違います。お互いの立場を尊重して、共に生活する意識を持つ事が大切です。今回は多文化共生を理解するため市内でミャンマーから来られた外国人就労者を雇用している立場でのフロンティア観光の村井さん



と就労している立場での光華メガネに勤務しているネパールから来られたケーシー・シュミット君に卓話を頂きます。日本人、外国人、お互いを理解できる事により今後、高山市が住みやすい街になる事を期待します。

<卓話> ケーシー・シュミット 様 異文化 クロスカルチャー

「文化」という言葉を聞くと、私たちはたいてい寿司、着物、祭りといった「目に見える」ものを思い浮かべます。しかし、文化は実際にはもっと深いところにあります。冰山を想像してみてください。食べ物や衣服は水面上の小さな部分に過ぎません。最も大きな部分、つまり私たちの価値観、ユーモアのセンス、そして「常識」は、水面下の奥深くに隠されています。



1. 「違い」への驚き

私たちは他の国の人と出会うと、しばしば「カルチャーショック」を感じます。例えば、ボディランゲージを見てみましょう。

- ・ある場所では、相手の目をまっすぐに見ることは、誠実さと自信の表れです。
- ・ある場所では、うつむくことは深い敬意と謙虚さの表れです。

これを理解しなければ、「あの人は失礼だ!」と思うかもしれません。しかし、実際には、彼らはただ自分の心のルールに従っているだけです。驚いたとしても、心を閉ざしてはいけません。代わりに、「あなたの国ではどうやってこれを行っているの?」と自問すべきです。この小さな質問こそが、新しい世界への扉を開く鍵なのです。

2. 「複数の真実」の力

二人の人が地面にある数字「6」を見ているところを想像してみてください。一人は上に立って「6だ!」と言い、もう一人は下に立って「いや、9だ!」と言います。

どちらが真実を語っているのでしょうか?二人とも真実を語っています。ただ立っている場所が違うだけです。文化とはまさにそれです。あなたの「真実」は、どこで生まれ、どのように育ったかによって異なります。別の文化について学ぶことで、数字の反対側に歩み寄ることができます。すると突然、6と9の両方が見えてきます。あなたの世界は2倍広がり、あなたの心は2倍柔軟になります。

3. 私たちがかける「レンズ」

私たちは皆、「文化レンズ」をかけており、それがあらゆる状況の見方に影響を与えています。個人主義を重視する文化の中で育った人は、自分の目標を優先してしまうかもしれません。調和を重ん

じる文化の中で育った人は、グループを優先するかもしれませんが。どちらのレンズも「壊れている」わけではありません。ただ、焦点が異なるだけです。異文化理解の目標は、自分のレンズを捨てることではなく、他者のレンズを通して物事を見る方法を学ぶことです。そうすることで、「違う」ということは「危険」を意味するのではなく、「新しい」ことを意味することに気づきます。

4. 尊敬の架け橋を築く

今日では、ロンドン、ニューヨーク、ナイロビにいる人々と携帯電話を使って瞬時に話すことができます。しかし、「つながっている」ことは「理解している」こととは異なります。

真に理解するためには、橋を架けなければなりません。橋は、両側が真ん中で出会う必要があります。私たちは自分自身を変える必要はありませんが、相手がどのような人であるかを知ることを喜ぶべきです。新しい言語や習慣を学ぶとき、私たちは単に事実を学ぶのではなく、私たちの間にある「壁」を消し去っているのです。

結論：世界は、私たちがまだ読んでいない本でいっぱい巨大な図書館のようなものです。それぞれの文化は、新たな物語であり、新たなメロディーであり、そして新たな人間性です。図書館の「馴染みのあるセクション」に留まってははいけません。これまで訪れたことのない廊下を歩いてみましょう。今日、皆さんにお願いがあります。次に何か「奇妙な」ものや「違う」ものに出会ったら、目をそらさずに、身を乗り出し、質問し、心で耳を傾けてください。

好奇心を持ち続ければ、すべての「見知らぬ人」を「隣人」に変えることができます。テクノロジーで世界を狭めるだけでなく、理解を通してより優しい世界にしていきたいと思います。

< 2 月のお祝い >

< 会員誕生日 >

西 美紀	S 3 3 年	2 月 1 1 日
西田 智	S 4 4 年	2 月 1 1 日

< パートナー誕生日 >

西 美紀	隆	2 月 2 日
渡辺 甚一	美子	2 月 8 日
中田 一男	さち子	2 月 9 日
伊藤 正隆	順子	2 月 1 8 日

< 結婚記念日 >

堀口 裕之	H 4 年	2 月 8 日
水口 邦博	H 2 3 年	2 月 2 0 日
上田 和史	H 5 年	2 月 2 0 日
伊藤 正隆	S 5 6 年	2 月 2 5 日



< ニコニコ BOX >

前回の例会から日が経ったので良い事も楽しい事もたくさんあり感謝です。 都竹 太志

本日、次年度委員会構成表を配布致します。ご協力をお願いします。また、委員長の皆様、新会員の皆様にはリーダーシップ・ラーニングセミナーのご案内も配布致します。重ねてご協力をお願いします。 熊崎 元康

寒さも和らぎ日一日と春めいて参りました今日この頃、後期会費の時期です。未納の会員様には振込みの程宜しくお願い致します。

田中 雅昭

本日は国際奉仕委員会担当例会、よろしくお願致します。

周 信夫

この度の衆議院議員選挙では大変多くの皆様に御世話になりましてありがとうございました。

島 良明

2月2日の節分例会は途中参加になりましたがありがとうございました。会費も払わずお酒を頂きましたので気持ちでニコニコへ。村井 繁喜

誕生日のお祝いありがとうございました。益々いい子になれるように頑張ります。 高木 純

寝不足が続いています。ガンバレ日本！そしてよく頑張った日本。また寝不足が続きます。 山本 辰男

山本 辰男

本日、早退します。

井辺 義直